

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名	1男	生年月日	明治 昭和 令和 年 月 日 大正 平成 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	午前・午後 時 分	生年月日が不詳の場合は推定年齢をカッコを付して書いてください。 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。
	2女				
死亡したとき	令和 年 月 日	午前・午後 時 分			
(12) 死亡したところ	死亡したところの種別	1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他			
	死亡したところ	番地 番 号			
(13) 及びその種別	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()			
(14) 死亡の原因	I	(ア)直接死因		発病(発症) 又は受傷から死亡までの期間	
		(イ)(ア)の原因		◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例:1年3か月、5時間20分)	
		(ウ)(イ)の原因			
		(エ)(ウ)の原因			
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			
		手術	1無 2有	部位及び主要所見	手術年月日
(15) 死因の種類	解剖	1無 2有	主要所見		
	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 (2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害) 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死(9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因) 12不詳の死				
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和・平成・昭和 年 月 日	午前・午後 時 分	傷害が発生したところ	
	傷害が発生したところの種別	1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他()			
	手段及び状況				
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数	
	1無 2有 ()		1単胎 2多胎(子中第 子)	満 週	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日 昭和 平成 令和 年 月 日	前回までの妊娠の結果 出生児 死産児 人胎 (妊娠満22週以降に限る)	
(18) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	その他特に付言すべきことがら				
	上記のとおり診断(検案)する				
	診断(検案)年月日 令和 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日				
(19) 病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所	番地 番 号				
	(氏名) 医師				